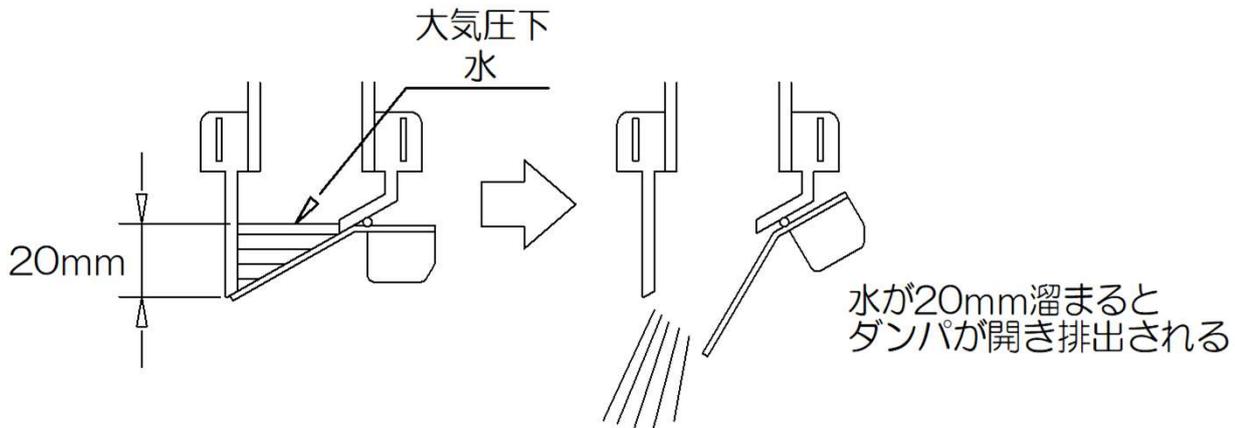


ウォーターベストを空調機ドレン排水に使用する場合の封水高さの取り方

【空調機の静圧がマイナス圧になる場合】

- ウォーターベストは大気圧下で内部に20mmの水が溜まるとダンパが開き排水する構造になっています。



- 従って、マイナス圧で吸い上げている静圧分(ファンの全静圧)に充当する水頭圧+20mmの封水高さが排水に必要となります。
- この封水高さが得られないと空調機のドレンパン内にドレン水が溜まり更にドレン水がドレンパンから溢れると言う事故を起こす可能性があります。

【封水高さの求め方】 (空調機の静圧がマイナス圧時限定)

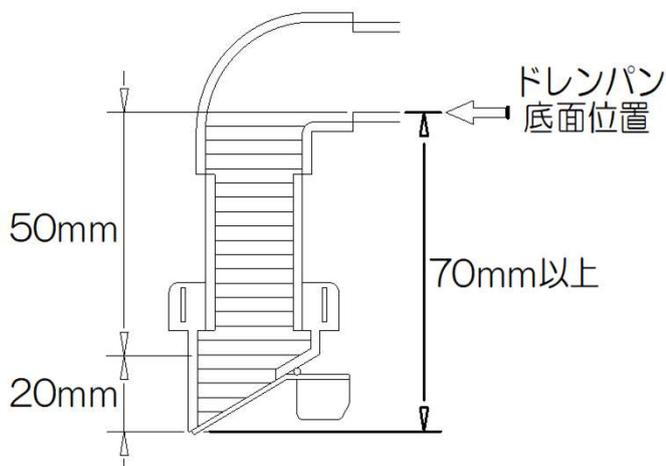
$$\text{封水高さ[mm]} \geq (\text{全静圧[Pa]} \div 9.8) + 20[\text{mm}]$$

$$\text{※KWCシリーズのみ} \rightarrow \text{封水高さ[mm]} \geq (\text{全静圧[Pa]} \div 9.8) + 40[\text{mm}]$$

○ 封水高さの取り方の例

空調機 全静圧がマイナス500Pa(50mmAq)の場合

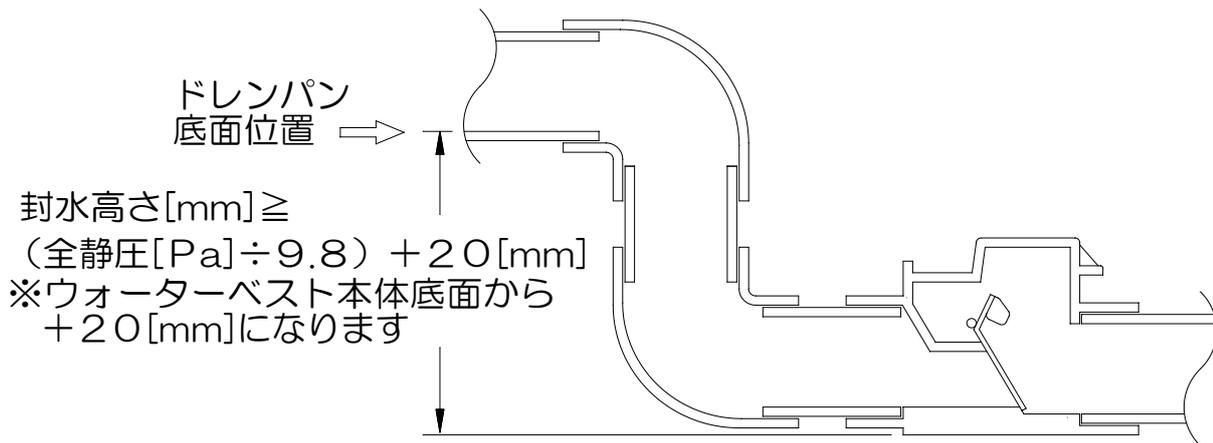
$$\text{約}50\text{mm} + 20\text{mm} = 70\text{mm}$$



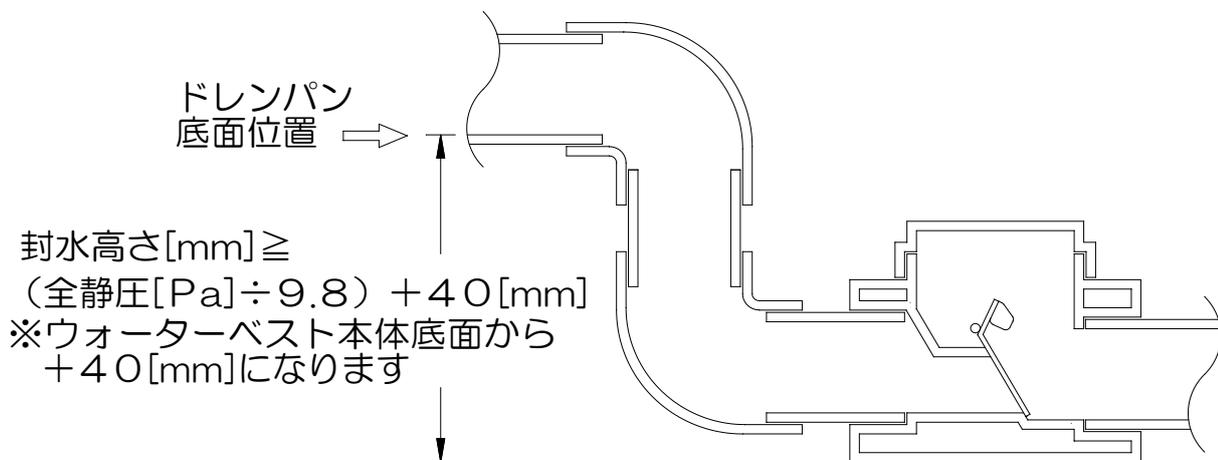
合計70mmの水が溜まらないと排水されません
従ってドレン配管下面からウォーターベスト先端迄を70mm以上設けて下さい

70mm以下だとドレンパン溢れの原因になります

KWYシリーズの場合

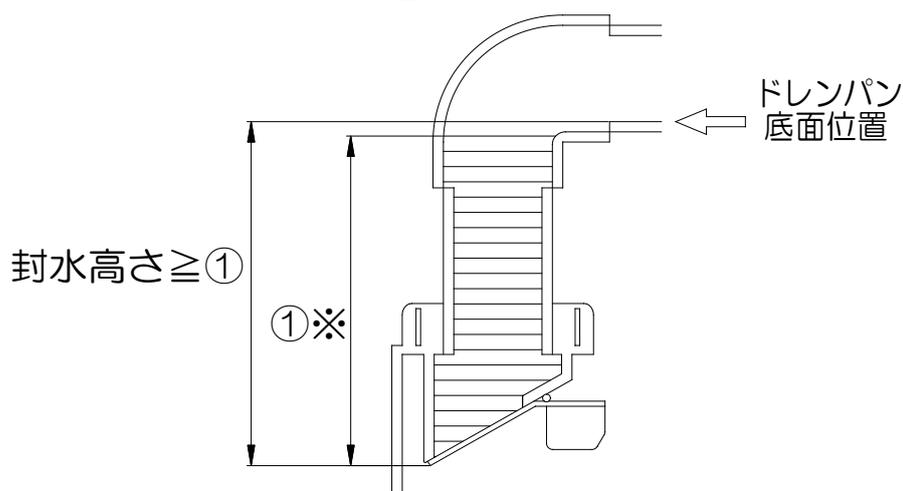


KWCシリーズの場合



【空調機の静圧がプラス圧になる場合】

KBプラス圧シリーズ限定



封水高さ[mm]① ≥ 下記※参照（ダンパー開口までの排水容量の高さ）

※ 500Pa対応型：50mm以上
 1000Pa対応型：150mm以上